

令和6年度（2024年度）第1回宝塚市国民健康保険運営協議会 会議要旨

日時：令和6年（2024年）11月8日（金）
午後1時30分から3時00分
場所：宝塚市役所第二庁舎1階 会議室A・B

委嘱状の交付

今年度が改選の年となったことから、委員へ委嘱状を交付した。

議題1 会長及び会長職務代理者の選挙について

国民健康保険法施行令第5条の規定により、公益を代表する委員から選出されるものとされており、高田昌代委員が会長に、足立泰美委員が会長職務代理者に推薦され、それぞれ委員全員の賛同により選出された。

報告1 国民健康保険運営協議会の概要について

国民健康保険運営協議会について、配布資料を基に事務局から説明を行った。

<主な質疑・意見>

- (委員) 保険料水準が統一化される令和9年度以降、基金を赤字補填に活用できないが問題ないのか。
- (事務局) 県から各市町に支払う交付金の必要額を各市町から納付金として徴収する仕組みとなっており、赤字は出ないスキームとなっている。仮に赤字が出た場合も、県が保有している基金が充当される予定であり、問題はない。
- (委員) 令和9年度以降の基金の活用方法について、具体的な活用条件は出されているのか。
- (事務局) 基金の活用方針について詳細は示されていない。今後、県と各市町で協議を行い、決定していく方針となっている。

報告2 保険料水準の統一化に向けたこれまでの検討状況について

保険料水準の統一化に向けたこれまでの検討状況について、配布資料を基に事務局から説明を行った。

<主な質疑・意見>

- (委員) 標準保険料率の統一と完全統一の違いについて
- (事務局) 令和9年度に標準保険料率の統一化を目指しているが、各市町ごとに現行料率と標準保険料率の乖離幅が異なり、令和9年度に間に合わない市町も存在する。令和9年度に間に合わない場合でも、令和12年度までには統一できるようにするといった二段階で構成されている。

報告3 国民健康保険事業の状況（令和5年度決算見込）について

令和5年度の決算見込みについて、配布資料を基に事務局から説明を行った。

<主な質疑・意見>

- (委員) 基金繰入金がない場合、赤字決算であると説明されたが、令和5年度に関しては、基金繰入金よりも基金積立額の方が大きく、同年度で相殺すれば赤字にならないように思われるが、そのような決算処理を行わない理由は。
- (事務局) 令和5年度に積み立てている基金は、令和4年度における県への精算金を除いた決算残金となっている。県の精算金が確定するのが翌年度の夏頃となっているため、そのタイミングまで積立可能額が確定できず、翌年度の12月補正で基金積み立てを行っており、同年度での相殺処理はできない運用となっている。

報告4 国民健康保険診療施設費の状況（令和5年度決算見込）について

令和5年度の決算見込みについて、配布資料を基に事務局から説明を行った。

<主な質疑・意見>

主な質疑や意見はなし。

報告5 令和6年度国民健康保険税の改正概要と各市の状況について

事務局から配布資料に基づき、税率は令和6年度も据え置いたこと、各市の改定状況などを報告した。

<主な質疑・意見>

主な質疑や意見はなし。

報告6 令和6年度保険者努力支援制度の結果について

事務局から配布資料に基づき、県平均との比較や交付金の額、各評価指標と得点及び要因などを報告した。

<主な質疑・意見>

- (委員) 特定健診の受診率について、他の病院で検査した場合、検査結果のコピーを提出することで、特定健診を受診した数字として計上できるとなっているが、検査結果のコピーを提出することのハードルが高い。検査結果のコピーを出さなくても、特定健診を受けなくて済む方法はないのか。
- (事務局) 他の病院で診療を受けているかでなく、特定健診に該当する内容を充足しているかどうか判断基準となっており、血液検査などで該当する内容を記載していれば、みなし健診として受診率にカウントできる。
- (委員) 得点率が低い項目について、対策として具体的に取り組んでいる内容について
- (事務局) 特定健診の受診率については、得点が獲得できていない状況。そのため、受診勧奨として、市が委託している事業者からの電話勧奨や健康センターから前年度の受診者に対して未受診勧奨通知を送付している。

報告7 その他について

事務局より、昨年度の標準保険料率等の本算定結果をもとに、現行税率から標準保険料率に合わせた場合の各世帯における影響額を算定したシミュレーションを提示。

<主な質疑・意見>

- (委員) 収納率が95.77%としているが、例年横ばいの数字か。また、残りの4.23%については徴収できないのか。
- (事務局) 90%を下回っていたときもあったが、全国的に収納率も上がってきており、近年は96%前後まで上昇している。徴収は続けているものの、低所得者等の現実的に徴収できない方もいるため、今年度も同水準で推移する見込み。

事務局より、今後の運営協議会の日程について説明。

<今後の日程>

第2回 令和6年12月中旬

主な内容 令和7年度の国民保険事業の財政運営について（諮問）

第3回 令和7年1月中旬

主な内容 令和6年度の国民保険事業の財政運営について
宝塚市特定健康診査等実施計画（第4期）及び宝塚市国民健康保険
データヘルス計画（第3期）評価

第4回 令和6年1月下旬

主な内容 令和7年度の国民健康保険事業の財政運営について（答申）

（ 会長 ） 協議会はこれで終了する。